

社会・環境部会 2009年 春の総会 議事次第

日 時 : 平成21年3月24日(火) 12時15分 ~

場 所 : 東京工業大学 大岡山キャンパス F会場

議 題

1. 部会長挨拶
2. 平成20年度決算概要及び21年度予算について
3. 平成20年度 活動の概要報告と次年度活動についての意見交換
4. 平成21年度部会運営体制(案)
5. 平成20年度部会表彰について
6. その他

配布資料

- ① 平成20年度収支概要及び21年度予算
- ② 平成20年度活動の概要
- ③ 企画小委員会の各報告書
- ④ 平成21年度部会運営体制(案)
- ⑤ 平成20年度部会表彰について一受賞者と表彰内容
- ⑥ (参考) 運営委員会議事メモ

以 上

※ 総会に引き続き部会表彰を行いません。

1. 平成20年度収支概要及び21年度予算

「1」通常予算	当年度予算	21年度 (見込額)
(1)前年度繰越金	8,109,873	8,109,873
(2)当年度収入		
本部配付金 収入	208,000	208,000
参加費 収入		
許諾抄録料 収入		
広告料 収入		
発送料 収入		
掲載料 収入		
有料会報代 収入		
著作権使用料 収入		
論文集売上 収入		3,000
テキスト売上 収入		
セミナー残金 収入	30,000	
協賛金 収入		
賛助金 収入		
寄付金 収入		
為替差損益		
H21 受託余剰金	517,000	
その他 収入		
収入 計	755,000	211,000
(3)当年度支出		
臨時雇賃金 支出		
会議費 支出	20,000	8,800
旅費交通費 支出	200,000	357,160
通信運搬費 支出	10,000	9,700
消耗品費 支出		
一般外注経費 支出	150,000	
会場費 支出		
委託費 支出		34,650
諸謝金 支出	100,000	100,000
負担金 支出		2,500,000
助成金 支出		
通常予算補助金 支出		
管理費配賦額	55,000	55,000
内部共催金 支出		
その他 支出		
支出 計	535,000	3,065,310
当(月)年度収支尻(2-3)	220,000	-2,854,310
翌年度 繰越金(1+2-3)	8,329,873	4,730,007

2. 平成20年度活動の概要

20090319

コアグループ報告

東京大学 木村 浩

○概要

現在コアグループとして活動しているのは、1グループのみ。

○成果報告

1. ファシリテーションフォーラム研究コアグループ (木村・勝木)

本グループでは、原子力界内のナレッジ循環を実施するフィールドとしての「ファシリテーションフォーラム」実践を目的としている。

2008年度は、PR館員のナレッジ循環を促進するための「コミュニケーターズ・コミュニケーション・ミーティング (COMCOM ミーティング)」の第3回、第4回を実施した。

●成果の概要

目的 (案内状より抜粋)

コミュニケーターズ・コミュニケーション・ミーティングは、私たちの研究グループで実施してまいりました「原子力関連広報およびPR館に対するインタビュー調査」(平成17~18年度原子力安全基盤調査研究「ナレッジ循環型『原子力ファシリテーションフォーラム』の構築」の一部)において、皆様にご協力いただいたヒアリング調査の結果、他のPR館を見学したり、他社で同様の仕事をされている方との意見交換の機会が無いが、可能ならば他の人たちが同じような職場でどのようなことをしているか知りたい、自分たちが持っていない良いアイデアがあれば取り入れたい、という意見を反映したものです。

そこで、同じ仕事に携わっていながら、ほとんど顔を合わせたことがない方々が一堂に会する第一歩の機会として、ミーティングを企画いたしました。このミーティングを通して、他のPR館の人と知り合い、その場で話し合ってもらうことはもちろんのこと、その後続くいろいろな情報を交換する基礎となればと思っています。

第3回 COMCOM ミーティング

テーマ：放射線の基礎

参加者：PR館関係者7名、講師 飯本先生(東大)、事務局3名

プログラム：

【2008年6月25日（水）】

- 13:00～ 全体説明
- 13:10～15:00 自己紹介と話し合い
※ 皆様の自己紹介と、日頃の業務の様子や最近の出来事などをひとり5分程度にまとめて話していただきます。その後、話し合いの時間を持ちます。
- 15:00～15:30 コーヒーブレイク
- 15:30～16:30 講演「放射線の基礎（仮題）」 飯本先生（東大）
- 16:30～18:30 お話を伺った後、質疑、応答の他、第1回目のポスターについての評価をいただきます。その後、参加者全員でポスター改善案についてフリーディスカッション。

【2008年6月26日（木）】

- 9:00～11:00 前日に引き続きフリーディスカッション
- 11:00～12:00 発表とまとめのミーティング
※ 今回のミーティングがどうであったか、また、次回開催に向けて、このようなことをやって欲しいなどを話し合いたいと思っています。
- 12:00 昼食、解散

第4回 COMCOM ミーティング

テーマ：PR館と地元との共生とは、どうありうるか？

参加者：PR館関係者 11名、講師 歌代様（柏桃の輪）、柏様（福井大）、事務局 3名

プログラム：

【2009年2月25日（水）】

- 13:00～ 全体説明
- 13:10～15:00 自己紹介と話し合い
※ 皆様の自己紹介と、日頃の業務の様子や最近の出来事などをひとり5分程度にまとめて話していただきます。その後、話し合いの時間を持ちます。
- 15:00～15:30 コーヒーブレイク
- 15:30～16:30 講演「原子力PR館に期待すること」
くらしをみつめる... 柏桃の輪 歌代 勝子さま
- 16:30～18:00 お話を伺った後、質疑、応答の他、参加者全員でフリーディスカッション。

【2009年2月26日（木）】

- 9:00～9:30 講演「PR館の共生拠点としての可能性」
福井大学 柏 貴子さま
- 9:30～11:00 グループ・ディスカッション。
3グループに分かれ、地域共生についての話し合い。
- 11:00～12:00 まとめのミーティング
※ 今回のミーティングがどうであったか、また、次回開催に向けて、このようなことをやって欲しいなどを話し合いたいと思っています。

まとめ

毎回ミーティング最後には事後アンケートを実施。参加者のほとんどがミーティングに満足しており、特に同業種の方々との意見交換が充実していること、新しい知識が得られること、普段聞けないことまでじっくり聞けること、PR館では立場上ざっくりばらんな話ができないような人と話ができること、など多くの面で好評価を得ている。

次回（第6回）の開催の要望も大きい。継続して実施する予定である。

○今後の展開

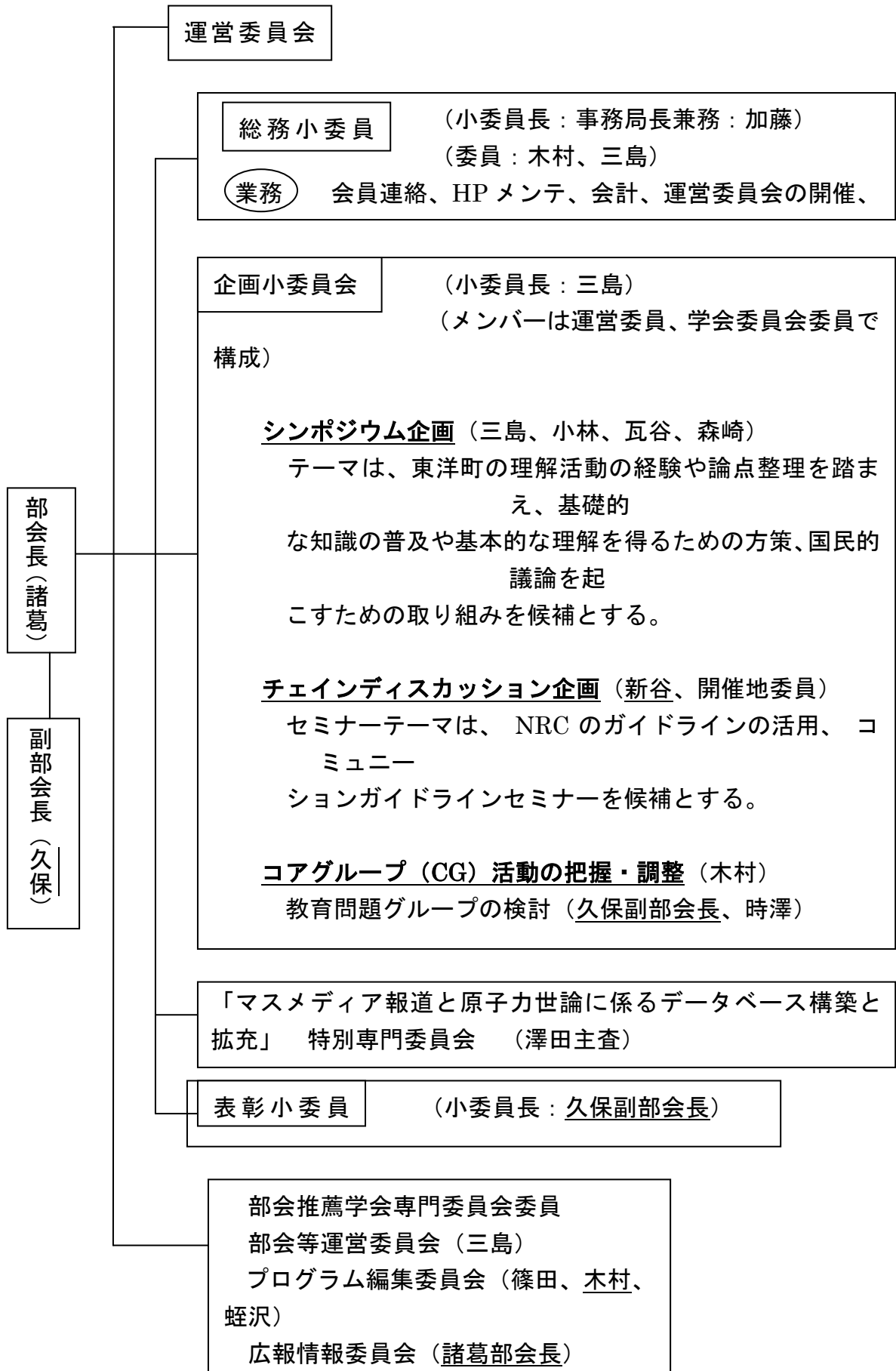
- ・ より社会が納得する原子力の受容を目指し、重点研究課題を改めて設定したい。
- ・ 秋の大会での報告を（順番に）義務付け、一方で、できれば最低限の金銭的援助も視野に入れ、それをできる制度を検討したい。

重点研究課題候補

- 原子力のパブリックアウトリーチに関する課題
- 原子力内部コミュニケーションの促進
 - ・ PR館のより効果的な活用法について
 - ・ 原子力関連シンポジウム等ポータルサイトの構築
 - ・ 教育問題検討
 - ・ などなど

以上

2. H22年度 社会・環境部会運営体制（案）



社会・環境部会 運営委員会体制（案）

平成21年度運営委員

	名前	所属
会長	諸葛 宗男	東京大学
副会長	久保 稔	日本原子力研究開発機構
企画小委員長	三島 毅	日本原燃
運営委員	佐藤 英俊	電気事業連合会
	瓦谷 泰浩	原子力安全/ALM研究所
	清水 昭比古	九州大学
	宇根崎 博信	京都大学
	森崎 利恵子	エネルギー広報企画舎
	新谷 聖法	(株) ペスコ
	高橋 信	東北大学
	澤田 隆	三菱重工
	時澤 孝之	日本原子力研究開発機構
	布目 礼子	原子力発電環境整備機構
	寿楽 浩太	東京大学
	小林 容子	テプコンシステムズ
	木村 浩	東京大学
	蛭沢 重信	エネルギー総合工学研究所
事務局長	加藤 豊一	日本原電

平成22年度 運営委員

	名前	所属
	諸葛 宗男	東京大学
	久保 稔	日本原子力研究開発機構
	三島 毅	大林組
	佐藤 英俊	電気事業連合会
	瓦谷 泰浩	原子力安全/ALM研究所
	清水 昭比古	九州大学
	宇根崎 博信	京都大学
	森崎 利恵子	エネルギー広報企画舎
	新谷 聖法	(株) ペスコ
	高橋 信	東北大学
	澤田 隆	三菱重工
	河合 潤	三菱総合研究所
	布目 礼子	原子力発電環境整備機構
	寿楽 浩太	東京大学
	小林 容子	テプコンシステムズ
	木村 浩	東京大学
	蛭沢 重信	エネルギー総合工学研究所
	加藤 豊一	日本原電